

読

YOMIKYO



Yrs.
1962-2012

響

正月から本気度MAX! 最も熱いニューイヤーコンサート

モンテカルロ・フィルの芸術監督を務め、
バーミンガム市響首席指揮者に就任するなど
我が国が世界に誇る俊英

指揮=山田和樹 (首席客演指揮者)
Conductor=KAZUKI YAMADA

マンフレッド交響曲

チャイコフスキー

チャイコフスキー:「眠りの森の美女」から“ワルツ”
TCHAIKOVSKY: Waltz from "The Sleeping Beauty"

ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番
RACHMANINOFF: Piano Concerto No. 2 in C minor, op. 18

チャイコフスキー:マンフレッド交響曲
TCHAIKOVSKY: Manfred Symphony in B minor, op. 58

読売日本交響楽団 第254回土曜・日曜マチネーシリーズ
Yomiuri Nippon Symphony Orchestra Saturday & Sunday Matinée Series No. 254

2023年1月7日(土) 1月8日(日)
Saturday, 7 January Sunday, 8 January

両日とも14時開演 東京芸術劇場 コンサートホール
14:00 Tokyo Metropolitan Theatre

SY¥7,600 A¥5,600 B¥4,600 C¥4,100

©読響

ラフマニノフ

ピアノ協奏曲第2番

奇抜な解釈と悪魔的なカリスマ性で
世界を震撼させる“孤高の巨人”

ピアノ=イーヴォ・ポゴレリッチ
Piano=IVO POGORELICH

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時~18時・年中無休
12/29~1/3を除く)

■当初の発表から曲目の一部が変更されました。■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。
■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。■未就学児
のご入場は、固くお断りいたします。■読響の「感染予防対策」にご協力をお願いします。

主催:読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

共催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

©Malcolm Crowthers

<https://yomikyo.or.jp/>

超弩級のスケール! 山田和樹が振る《マンフレッド》 巨匠ポゴレリッチがラフマニノフの協奏曲で“夢の競演”

山田和樹の躍進はとどまるところを知らない。2022年はBBCプロムスにデビューを飾り、23年には英国の名門バーミンガム市響の首席指揮者兼アーティスティックアドバイザー就任を控えている。今や“世界のヤマカズ”としてその名を轟かせる日本のエースが、今回チャイコフスキーの「マンフレッド交響曲」を指揮する。山田のダイナミックなタクトは読響から大迫力のサウンドを引き出し、会場を興奮の渦に巻き込むだろう。

マンフレッド交響曲は、イギリスの高名な詩人バイロンの劇詩に基づく標題交響曲。叡智を極めた主人公マンフレッドは、忘却を求めてアルプスの山中をさまよう。苦悩と絶望、牧歌的な風景、精霊たちの乱痴気騒ぎなどが、チャイコフスキー特有の美しい旋律や重厚なサウンドで詩情豊かに描かれる。山田は本作をバーミンガム市響首席客演指揮者の就任披露演奏会でも取り上げ、実はチャイコフスキーの交響曲の中でも一番好きな作品だと語る。金管楽器の咆哮、怒涛のごとく畳みかける打楽器と弦楽器の強奏など、大管絃楽を自在にドライブさせて、手に汗握るドラマを展開させるだろう。山田が描き出す破格のスケールの音楽をお楽しみいただきたい。

前半は、鬼才ポゴレリッチが登場し、ラフマニノフの傑作協奏曲で山田と“夢の競演”を繰り広げる。強烈なカリスマ性を放ち、数々のスキヤンダルを巻き起こしてきた現代最高峰の巨匠だ。極端に緩急するテンポ、破壊的なフォルティッシモ、奇怪なフレージングなどその個性的な演奏スタイルは、思いもよらぬ作品の姿をあぶりだし、世界中の聴衆を震撼させてきた。近年、「なにか『開眼』するのを待っていた」と語り、21年ぶりの新録音としてリリースしたラフマニノフのピアノ・ソナタは、「オーケストラを聴くような色彩感」と絶賛されている。開眼した鬼才は、今回の傑作協奏曲ではどのような怪演を見せてくれるだろうか。音づくりに一切の妥協を許さぬ巨匠が、真骨頂を発揮する。



山田和樹 (指揮)

Kazuki Yamada, Conductor

イーヴォ・ポゴレリッチ (ピアノ)

IVO POGORELICH, Piano

生命力あふれる音楽で、国際的に活躍する日本のエース。2018年4月から読響首席客演指揮者。東京芸術大学指揮科卒業。09年プザンソン国際コンクール優勝。BBC響を指揮して欧州デビュー。パリ管、ベルリン放送響、フランクフルト放送響、フィルハーモニア管、ドレスデン・フィル、チェコ・フィルなどへ客演。22年にはバーミンガム市響とBBCプロムスにデビューし話題を呼んだほか、モンテカルロ歌劇場でベルク「ヴォツェック」、ペルリオーズ「ファウストの劫罰」を振り、成功に導いた。スイス・ロマンダ管首席客演指揮者を経て、現在バーミンガム市響首席客演指揮者(23年から首席指揮者兼アーティスティックアドバイザーに就任)、モンテカルロ・フィル芸術監督兼音楽監督、東京混声合唱団音楽監督兼理事長。

奇抜な解釈と演奏スタイルで超人的なスケールの音楽を生み出し、世界を震撼させる鬼才。読響とは2016年、20年に共演して絶賛され、今回3度目の登場となる。1958年旧ユーゴスラヴィアのベオグラード生まれ。12歳で単身モスクワへ渡り、モスクワ音楽院で学ぶ。80年ショパン国際コンクールに出場し、個性的な演奏で議論を巻き起こした。本選に進めなかったことに抗議してアルゲリッチが審査員を辞任するなど一大スキャンダルとなり、世界的に注目を浴びた。81年にニューヨークのカーネギーホールでデビューし、以降世界各地で公演を重ねている。ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ロンドン響、シカゴ響など一流楽団と共演。録音も数多い。現在はクロアチア国籍で旧ユーゴスラヴィア内戦後の慈善事業にも力を入れている。

読売日本交響楽団 第254回 土曜マチネーシリーズ

2023年 **1月17日** (土) 14時開演
S ¥7,600 / A ¥5,600 / B ¥4,600 / C ¥4,100

読売日本交響楽団 第254回 日曜マチネーシリーズ

2023年 **1月18日** (日) 14時開演
S ¥7,600 / A ¥5,600 / B ¥4,600 / C ¥4,100

東京芸術劇場 コンサートホール (池袋) 東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分 (*駅地下通路2b出口と直結しています)

観覧券 東京芸術劇場には一時託児サービスがあります(公演1週間前まで予約)。株式会社ミラクス ミラクスシッター0120-415-306 (予約受付:平日9時-17時) 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。■マスク着用など、読響の「感染予防対策」にご協力をお願いします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休/12/29-1/3を除く

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296